

平成30年度社会福祉法人坂東市社会福祉協議会事業報告書

平成30年度社会福祉協議会事業につきましては、事業計画の基本方針及び重点目標に基づき、次のようなことを念頭におき事業推進に努めてまいりました。

今日置かれている私達の暮らしは、急速な少子高齢社会、とりわけ西暦2025年を見据えた団塊世代の対応、さらにはこれらに関連する人口減少の到来や生活環境の多様化による独居高齢者数の増加など、長寿社会を支える仕組みづくりが益々必要とされてきております。

このような中、社会福祉協議会は地域福祉推進の中核的機関としての位置づけのもと、平成30年度においては第2次地域福祉活動計画（5ヵ年度計画：平成28年度から平成32年度）の3年目として、基本目標の4柱「ひとづくり」「地域・ネットワークづくり」「安心な環境づくり」「社協の基盤強化」を念頭に、地域福祉ネットワーク事業など平成30年度からの新規事業に備えた体制づくりや、多岐にわたるボランティア活動の環境整備などを進めてまいりました。

今後、裾野の広い地域福祉の発展をひとつひとつ着実に積み上げることにより、市民主体の福祉構築を社会福祉協議会が先導する中で、行政及び関係機関などとの連携もより一層重視した取り組みを、今後とも継続していくこととしております。

重点目標の確認

社会福祉協議会は、地域福祉の担い手としての福祉サービスの充実や、住民参加による福祉活動の取り組みを重視する中、時代の要請に応じられるサービスの安定的な提供を行うため、下記の項目を重点目標に掲げ事業推進に努めた。

1. 新規事業及び強化事業の推進など

持続可能な社会保障制度を堅持するための事業や、次世代育成に寄与するための事業などに着

手し社会福祉協議会が中核となり市民中心の事業に取り組んだ。

＝新規事業＝

- ①地域福祉ネットワーク事業
- ②フードバンクの取扱い
- ③子ども食堂
- ④手話教室「入門コース」
- ⑤親子ふれあい陶芸教室

- ⑥「福祉に挑戦」学生向けボランティア体験事業

＝強化事業＝

- ①社会福祉協議会ホームページリニューアル
- ②歳末援護活動
- ③法外援護活動
- ④岩井福祉センター入浴時間及び販売品の拡充

＝事業整理＝

- ①愛のバス送迎サービス事業

2. 地域福祉活動計画に基づく事業の展開

社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画の重点施策（法人基盤強化・福祉教育協力校推進・ボランティアセンター事業・サロン事業・健康介護予防事業・障がい者事業・子育てサポーター事業）を展開し、幅広く市民の皆さまが参画できる福祉活動を推進してきた。

3. 関係諸団体などとの連携推進

各行政機関や福祉関係機関・団体などとの緊密な連携を図るとともに、支部長連絡会を中核とした小地域ネットワークづくりとして支部事業のさらなる推進も充実してきた。

4. 広報活動及び啓発活動の充実

社会福祉協議会ホームページの運営、社会福祉協議会だより「BANDO」の定期発行、市広報紙の効果的活用、声の社協だよりの活用、各種事業向けの啓発活動などを実施してきた。